

平成15年5月7日

各位

株式会社 愛知銀行  
名古屋市中区栄三丁目14番12号  
代表者名 取締役頭取 小出眞市  
(コード番号 8527 東証・名証各第1部)  
問合せ先  
常務取締役総合企画部長 飯田紘三  
(TEL. 052 - 251 - 3211 )

## 平成15年3月期末の「有価証券の減損処理」について

当行では、金融商品の時価会計基準に基づき、「その他有価証券」について、簿価に比べ時価あるいは実質価額が著しく低下した銘柄につき減損処理（有価証券評価損）を行っております。

この度、平成15年3月期末における有価証券の減損処理額を算出いたしました結果、下記のとおりとなりましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成15年3月期末の有価証券の減損処理額

(A)平成15年3月期末の有価証券の減損処理額	7,492百万円
(B)平成14年3月期の純資産の額 (A/B×100)	117,458百万円 (6.3%)
(C)平成14年3月期の経常利益額 (A/C×100)	896百万円 (836.1%)
(D)平成14年3月期の当期純利益額 (A/D×100)	654百万円 (1,145.5%)

(ご参考) 減損処理にあたり、時価のある銘柄は、期末日における時価の簿価に対する下落率が50%以上の銘柄について、一律減損処理しております。

下落率が30%以上50%未満の銘柄については、過去一定期間の時価の推移や発行会社の業況の推移、また、市場環境の動向等を考慮のうえ、時価の回復可能性が認められないと判断される銘柄を減損処理しております。

なお、時価のない銘柄は、簿価に対して実質価格が原則として50%以上下落した銘柄を減損処理しております。

#### 2. 業績見通し

平成15年3月期の業績予想につきましては、厚生年金基金の代行部分の返上に伴う特別利益の計上及び営業経費の削減等を主因として、修正とはならない見込みであります。

以上